



Title	臨床哲学のメチエ 第22号 目次
Author(s)	
Citation	臨床哲学のメチエ. 2017, 22
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68174
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

『臨床哲学のメチエ vol.22』 もくじ

はじめに	2
特集1：ともに考える？「第40回臨床哲学研究会当事者研究と哲学対話」	3
山口弘多郎 「第40回臨床哲学研究会の概要」	6
小泉朝末 「臨床哲学研究会に参加して考えたこと」	30
永山亜樹 「研究会の感想」	33
中西チヨキ 「永山亜樹さんの言葉から」	40
永浜明子 「わたしらしさと障がい受容」	41
佐々木大輔 「当事者研究も、暮らしも、『自分自身で、共に』」	50
特集2：洛星高校での授業「臨床哲学」	63
山本聖人 「洛星と私」	66
荻野亮一 「ひとと会う、外に出る、ともに生きる」	76
川崎晴香 「洛星高校での取り組みについて」	83
小泉朝末 「洛星での実践の経験」	86
それぞれの臨床哲学	90
吉川優希美 「関わり生きていくなかの慰め ——触れ合いから考えるケアのもうひとつのあり方」	91
高原耕平 「ツナミのあとで：タイ南部タクワ・パーでの3ヶ月」	129
中川雅道 「過去——タゴールと鳥」	184
辻明典 「ともに綴る言葉」	189
安谷屋剛夫 「p4c 日記」	197
渡邊陽祐 「対話を通して現れるもう一人のわたし ——フォーコーの「パレーシア」を手がかりに」	211
高原耕平 「かけらをふちどる：フラグメントロジー再考」	270
編集後記	280